



新たな年度の始まり

～新入生243名を迎えて～

生徒昇降口前の古木“高松桜”の花が咲く中、4月4日(木)に『令和6年度入学式』が行われました。当日の未明まで激しい雨降りでしたが、式が始まる時には雨もあがり暖かくなり、絶好の入学式日和となりました。今年度は普通科202名、理数科41名、計243名の新入生が、希望を胸に本校の門をくぐりました。朝早くから、保護者とともに玄関先などで記念すべき日をカメラに収めていた姿を多く見かけました。

コロナ禍が収束し4年ぶりに何の規制も伴わない式となり、吹奏楽班による入退場演奏や生徒による校歌披露などもありました。式では入学許可続き、新入生を代表して宮澤 葵さんが「本校の生徒として自覚と誇りを持ち、自分の夢への道を進むべく勉強に班活に努力精進していきたい」と力強く宣誓をしてくれました。入学式に臨んだ気持ちを忘れずに、これからの学校生活を有意義なものにしていてもらいたいと思います。

翌日の5日(金)は、生徒自治会による『対面式』が行われ、生徒自治会長の佐藤遼君の歓迎の挨拶に続いて、“規律ある学窓”“反暴力”を誓った「高松92宣言」の確認、高松祭などの紹介がありました。放課後は、早速様々な班活動の様子を見学して回る1年生の姿が多くみられました。新入生の表情からも、飯田高校生としての良いスタートを切ることができたようです。

これまで『飯田高校便り(校長版)』としていましたが、学校で発行している『飯田高校便り』と重複するので、『高松日和』としました。本校が位置する場所は以前“高松(原)”と言われており、戦後の一時期、校名を「飯田高松高校」ともしていました。今でも年配の方は、「飯田高松高校」と親しみを持って言われることがあります。



3月19日合格発表



高松桜の前での記念撮影



生徒代表宣誓



2, 3年生による校歌披露



対面式